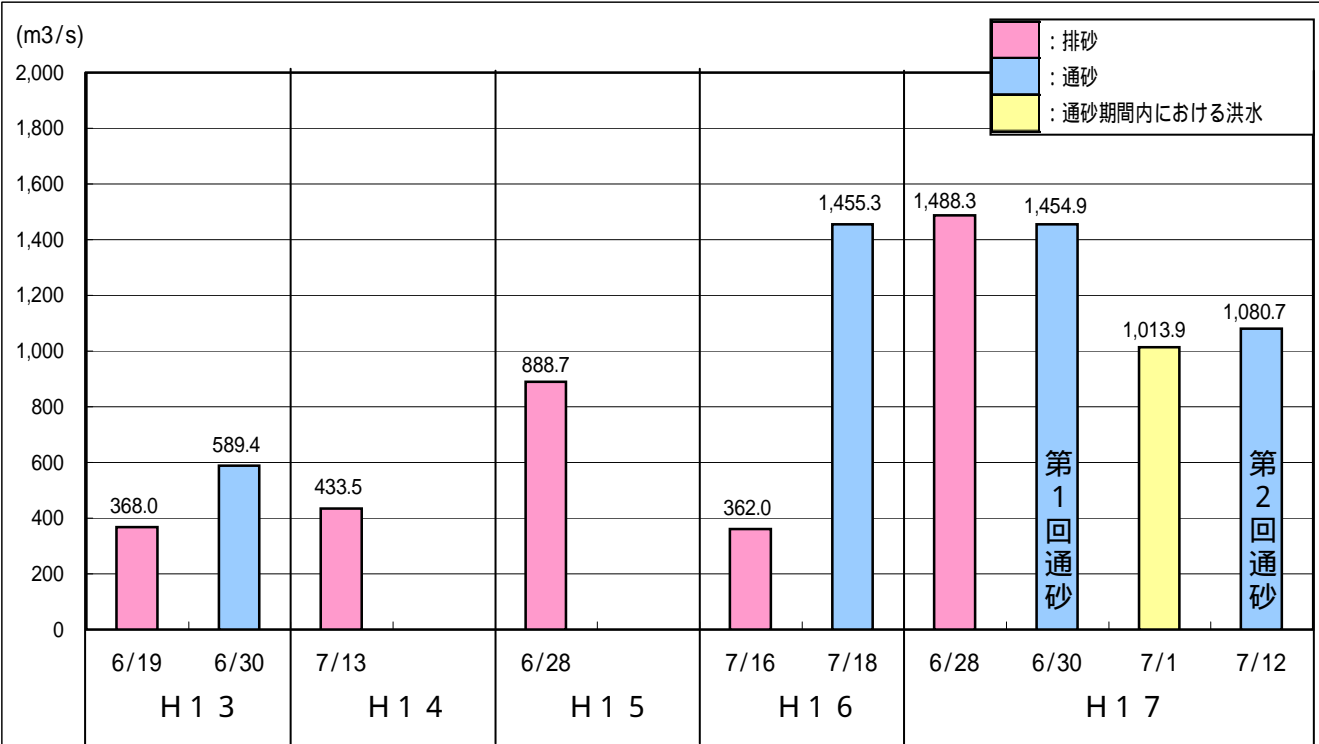


宇奈月ダム運用開始以降における 連携排砂・通砂実施時の宇奈月ダム最大流入量比較

平成13年4月からの宇奈月ダム運用開始以来、最大流入量が1,000m³/sを超える洪水が5回発生しているが、そのうち4回が今年の梅雨期間内に集中している。

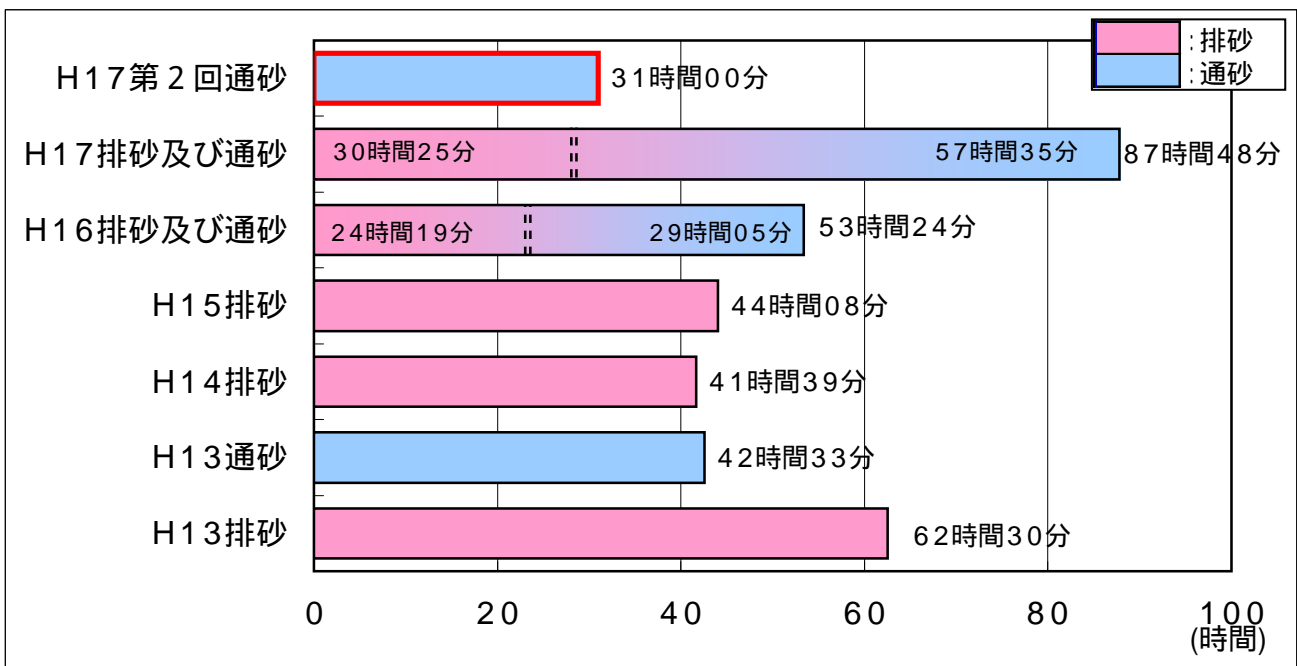


年度	日 時	宇奈月ダム流入量 (m ³ /s)	順位	区分
H13	6月19日 17:06	368.0	9	排砂
	6月30日 17:37	589.4	7	通砂
H14	7月13日 21:10	433.5	8	排砂
H15	6月28日 10:25	888.7	6	排砂
H16	7月16日 22:18	362.0	10	排砂
	7月18日 3:12	1,455.3	2	通砂
H17	6月28日 17:32	1,488.3	1	排砂
	6月30日 5:40	1,454.9	3	通砂
	7月1日 19:37	1,013.9	5	通砂期間内
	7月12日 7:28	1,080.7	4	通砂

通砂期間内とは、連携通砂実施決定から通砂後の措置終了までの期間をいう。

連携排砂・通砂における愛本合口堰堤取水停止時間

平成13年度からの連携排砂・通砂の開始以来、
取水停止時間が過去、最短の31時間で終了



	取水停止時間	備考
H13排砂	62時間30分	
H13通砂	42時間33分	
H14排砂	41時間39分	
H15排砂	44時間08分	
H16排砂及び通砂	53時間24分	
H17排砂及び通砂	87時間48分	一時取水再開有
H17第2回通砂	31時間00分	

愛本合口堰堤取水再開のお知らせ

平成17年7月13日 11時00分

連携排砂実施機関

国土交通省黒部河川事務所

関西電力(株)北陸支社

問い合わせ先：宇奈月ダム操作室（0765-62-9073）

愛本合口堰堤からの取水は、13日午前11時に再開されました。

昨日7月12日から実施している宇奈月ダム・出し平ダム連携通砂については、13日午前10時の時点で、宇奈月ダムの自然流下を継続中で、午後1時44分頃に宇奈月ダムの自然流下（ゲートからの通砂）を完了する予定です。

これを踏まえ、愛本合口堰堤からの取水について、午前10時に現地にて農業関係団体の代表者に濁りの状況を確認頂き、愛本地点の川の流量及び濁り（注）が安定したとの判断となりましたので、午前11時に取水が再開されました。

（注）濁度400（度）程度（概ね取水に支障が無いと考えられる濁り）まで低下（連携排砂実施機関では、河川の濁りについての情報を提供しております。）

通砂後の措置の実施について

平成17年7月14日

連携排砂実施機関

国土交通省黒部河川事務所

関西電力(株)北陸支社

問い合わせ先：宇奈月ダム操作室（0765-62-9073）

今回の宇奈月ダム・出し平ダムの連携通砂の最後の作業として通砂後の措置を実施致しました。

出し平ダムでは、前回の通砂と同様、ダムへの流入量のダムから放流を7月13日15時20分に開始し、14日3時20分に終了しました。

宇奈月ダムでは、初めての試みとして、通砂後の措置を試行しました。

7月13日19時10分までに、水位回復を完了し、14日0時20分に約300 m³/s程度・3時間の放流を開始し、14日午前3時20分に終了しました。

この通砂後の措置の試行終了をもって、今回の通砂作業は全て完了致しました。

通砂後の措置の試行

宇奈月ダムでは水位低下ゲートから、濁りの少ない水を300 m³/s程度3時間放流することにより、河道内における局所的な土砂の堆積を防止するもので、今回が初めての実施となります。

通砂後の措置の効果の確認

『通砂後の措置』の前後に黒部川の河道内の土砂の堆積状況について、現地踏査による写真撮影等及びヘリコプターによる上空からの写真撮影等により確認を行い、評価委員会による評価をお願いすることとしています。